

# 教 育 研 究 業 績

2021年 5月 1日

氏名 李 允希 (イ ユニ)

学位: 教育学修士

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド
言語学、言語教育学、その他の外国語学(韓国語学)	音声学、音韻論、その他の言語(韓国語)、外国語教育論、教材論

主要担当授業科目	日韓対照言語学、韓国語会話、留学前ゼミナール、留学韓国語、韓国語通訳、日韓比較文化論
----------	--

## 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項

事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例		
1)NHK教育放送ハングル講座の講師担当	平成14年～ 平成22年、 平成26年4～9月 平成27年10月～ 平成28年3月	開発した教授法による発音教育をテーマに、入門編においては発音のFossilizationを予防する教授法を、応用編においてはProsody(PitchやIntonation)に関する発音教育を行った。
2)連想法による韓国語発音教育の実践	平成16年～ 平成19年	発表した論文「韓国語音声教育における子音と音韻変化の連想的指導方法」による指導を、NHKの教育番組や本学の学生に対して実施した。韓国語は文字の数が多く発音が難しいと言われるが、文字から発音が連想できて、音韻変化の理解へのSchemaとなるこの教授法は、社会的にも本学の学生からも高い評価が得られた。
3)Web版「ユニ先生の易しい韓国語教室」	平成17年10月	インターネット上で韓国語の発音が学習できるWeb版CAI教材の『楽々韓国語V2ーユニ先生の易しい韓国語教室Web版』を制作。イラストをふんだんに用いて、韓国語の母音や子音などの分節音の正確な調音点が視覚的に判断できるように工夫している。また、既存の韓国語カタカナ語辞書に新たに使用頻度の高いカタカナ語の掲載を増やし、韓国語の機械翻訳機能の強化を図った。
4)Web配信「イ・ユニのハングルの部屋」	平成21年2～6月	東京成徳大学人文学部のホームページに公開したCALL教材。PPT教材を用いて実際に説明する場面を収録した動画教材。ハングル文字の誕生の背景や文字の成り立ちから説明し、自分の名刺をハングルで作成することを目標に、文字と発音の学習のコツを紹介した。同教材はYouTubeというインターネット動画サイトにもあがっており、アクセス件数は学内動画のトップレベルである。
5)受講生の学習レベルや教室の学習環境に合わせた専用教材の開発	平成21年11月、 平成26年3月	ハングルの制字原理を援用した独自の発音教授法を実践するため、体系的で具体的な教材を開発。本学のCALLシステムや

		教室環境に適したICT教育が実践できるよう工夫している。
2 作成した教科書・教材		<p>【1に関連する教材】 以下の業績目録のうち、著書 (1, 2, 4, 5, 6, 7, 9, 11, 12, 16, 18, 19, 21, 22, 23, 24)、論文 (1, 2)</p> <p>【2 CAI教材】 以下の業績目録のうち、著書 (3, 10)</p> <p>【4 CALL教材】 以下の業績目録のうち、著書 (19, 21, 22)</p>
3 教育上の能力に関する大学等の評価		<p>平成18年11月の公開講座のアンケートに対し、「公開講座のアンケートを拝読しました。文字どおりの絶讃でした。ご苦労様でした。そして大学の名声のためにありがとうございます。」という評価を受けた。</p> <p>平成19年度前期の授業アンケートに、「一度韓国語を習ったことがある私でも飽きることがなく、すごく興味や関心を抱かせる授業でした」や「毎回毎回とても面白いです。わかりにくい所を丁寧に教えてくれるので、授業にもついていけます。」などの学生のコメントがあった。開発した発音教授法の成果に手応えを感じた。</p> <p>平成25年度後期の授業アンケートの「授業・教員及び総合についての学生の評定」において、すべての項目の平均点が学部全体の平均点を上回る結果となった。学生自身の評定項目の「授業以外でもこの内容を理解する努力をしている」の平均値が特に高くなっており、CALLやe-Learningシステムを用いた遠隔教育の成果に手応えを感じた。</p>
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
<p>【教育放送】</p> <p>1)NHKラジオ教育放送「アンニョンハシムニカ?ハンゲル講座-美しい発音をめざして」の講師担当</p> <p>2)NHKラジオ教育放送「アンニョンハシムニカ?ハンゲル講座-美しい発音をめざして」(再放送)の講師担当</p> <p>3)NHKラジオ教育放送「アンニョンハシムニカ?ハンゲル講座-美しい抑揚で話す」の講師担当</p>	<p>平成14年4～9月</p> <p>平成15年10月～平成16年3月</p> <p>平成17年1～3月</p>	<p>語学番組の講師として、月曜日から木曜日放送の入門編を担当。ハンゲル文字を丸暗記するのではなく、発音器官と結び付けてイメージで覚える指導法を実践。特に発音クリニックコーナーを設け視聴者をスタジオに招いて発音指導を行ったため、注目を浴びた。</p> <p>同上</p> <p>語学番組の講師として、金曜日と土曜日の放送の応用編を担当。韓国語の分節音の発音と共にProsodyに関する内容を体系的に取り入れている。また、テキストの内容には言語の背景に存在する日韓の文化の違いも紹介し、異文化教育の充実を図った。</p>

4)NHKラジオ教育放送「アンニョンハシムニカ?ハンゲル講座-美しい抑揚で話す」(再放送)講師担当	平成18年7～9月	同上
5)NHKラジオ教育放送「アンニョンハシムニカ?ハンゲル講座-よく使うことばで賢く学ぼう」講師担当	平成19年4～9月	語学番組の講師として、月曜日～木曜日放送の入門編を担当。最新のデータによる教育用基本語彙を用いて、日常よく使われる表現を優先的に学ぶように工夫した。Functional Syllabusによる学習内容には、実際の場面で必要となる使用頻度の高いTaskを取り入れ、視聴者が番組に登場して会話できるようにしたため、日本全国の視聴者からの高い人気を得た。
6)NHKテレビ教育放送「テレビでハンゲル講座」講師担当	平成20年4月～平成21年3月	NHKの韓国語教育番組開始以来20年余り続けられていた番組名が初めて変更されたたいへん重要な時期に講師を担当した。放送用テキストが発売後すぐに売り切れ、増刷しても足りないほど記録的なテキストの売り上げの実績を残した。また、スタジオを飛び出して日本全国の学習者を訪ね、直接発音クリニックを行ったことも教育番組としては初めての試みであった。教育の面では学習者中心の教育の実践に繋がり、放送の面でも視聴者参加型の双方向番組を実現したこととなり、番組の視聴率がたいへん高くなったという放送局からの報告があった。
7)NHKラジオ教育放送「まいにちハンゲル講座」	平成21年10月～平成22年3月	平成19年に放送した「よく使うことばで賢く学ぼう」の再放送。
8)NHKラジオ教育放送「まいにちハンゲル講座」	平成26年4～9月	語学番組の講師として、月曜日～金曜日、日曜日の放送を担当。NHKの入門編のハンゲル講座では始めとなる体系的な韓国語Prosodyに関する教育を試みた。毎月発売するテキストにおいても、Pitch PhraseにおけるPitchやIntonationを視覚的に明記した。
<b>【公開講座】</b>		
1)「韓国の家族の変遷について」	平成17年6月	八千代市男女共同参画センターセミナー。儒教の影響を受けた伝統的な価値観と現代社会が求める男女平等の価値観のズレから、世界一低出生率の国となった原因を説いた。
2)「韓国の食文化－夫婦の役割分担」	平成18年6月	八千代市男女共同参画センターセミナー。男女均等雇用法を制定し女性の社会進出を積極的に奨励してきた、韓国の現代社会が生んだ特徴と価値観、問題点について説いた。
3)「韓国の食文化－儀礼節季のお料理」	平成18年9月	八千代市男女共同参画センターセミナー。長期保存するため発酵食品として変化してきた韓国料理の特徴を中心に、韓国料理と風土との関係や季節の料理とその意義について説いた。

4)「韓国の文化の特徴と背景」	平成18年10月	東京成徳大学人文学部における公開講座。韓国の文化のうち、主に住文化と衣文化について、その特徴と関連性・変化の過程やその景的的な要素、日本の文化との相違点などを視聴覚資料を豊富に取り入れて説明。100人に及ぶ受講生より、「分かりやすかった」、「またやってほしい」などの感想が寄せられた。
5)「ハングル発音クリニック」	平成19年11月	NHK教育フェア(ラジオ語学講座公開講座)。NHK語学番組の中でも人気のある番組に対して行われる公開講座。参加した視聴者に韓国語のProsodyに関する発音クリニックを行っているところを、TVの生放送のインタビューが入るなど、注目を集めた。
6)「イ・ユニ先生と学ぶ初めての韓国語」	平成21年5月～ 平成26年2月	東京成徳大学人文学部における初の有料公開講座としてスタートした講座。高い人気を得てクラスを増やし、講座名を「韓国語入門」、「韓国語初級」に変更して行った。
7)「ドラマで学ぶ韓国語」	平成26年5月～ 平成26年8月	東京成徳大学人文学部における有料公開講座。韓国ドラマを日本語に訳し内容を把握した上で、登場人物のセリフを俳優と同じ抑揚で話すことを目指した。セリフの中の文法項目の学習を行い、日本と韓国の生活文化の違いも学習。
8)「ドラマで学ぶ韓国語」	平成26年10月～ 平成27年2月	上掲7)の後半部。
9)「歌で学ぶ韓国語」	平成27年5月～ 平成27年7月	東京成徳大学人文学部における有料公開講座。韓国の多方面の音楽を取り上げ、最近の音楽事情も紹介しながら、韓国語で歌えることを目指した。歌詞の意味や文法を学び、その背景にある文化なども紹介した。
10)「昔話で学ぶ韓国語」	平成27年10月～ 平成28年1月	東京成徳大学人文学部における有料公開講座。韓国の昔話を読みながら韓国語の中級レベルのスキルアップを目指した講座。 昔話を聞き取って、ナレーターと同じように話れることが学習の目標。
<b>【講演・発表】</b>		
1)「日本における韓国語教育の実施現況」	平成11年11月	梨花女子大学言語教育院主催。日本の韓国語学習者の増加とそれに伴う韓国語講師不足と講師の研修の必要性など、日本における韓国語教育の現状と問題点について述べた。
2)「発音クリニック」	平成15年7月	群馬韓国語愛好会。韓国語学習上でもっとも難点となっている発音について、誤用の多い分節音と音韻変化について説明。また、同じ音韻の環境において、異なる音韻変化の生じるケースについて、その理由を説いた。

3)「連想法による韓国語発音指導」	平成15年8月	日本韓国語研究会主催。現役の韓国語講師に対して、日本人母語話者の発音の誤用のうち意味伝達に支障を与える発音について、誤用と発音の化石化を防ぐための体系的な発音指導方法を紹介。
4)「二つのパッチムを読むコツ」	平成16年7月	群馬韓国語愛好会主催。有効的な教授法が確立しておらず、学習者の丸暗記の努力によって進められている、韓国語の音節末の複子音の教授法を紹介。
5)「韓国現代文化の理解」	平成18年7月	韓国語教師養成課程(韓国の「国語基本法施行令」に基づく日本最初の韓国語教師養成課程)指導担当。
6)「日本語教育に生かす対照言語研究 日韓」	平成19年8月	財団法人言語文化研究所主催。韓国語母語話者に対して日本語を指導する日本語講師に対して、韓国語母語話者が苦手とする日本語の分節音を中心に、調音点の違いなど、両言語の比較を通して有効的な発音指導法を説いた。
7)「NHK春のテキストまつり」	平成20年3月	平成20年4月から放送される番組にスポットを当て、事前に放送用テキストの内容を紹介する公開講演会。
8)「修学旅行のための韓国語」	平成21年7月	千葉県成田国際高校の要請による出張講義。修学旅行時にすぐに必要となる簡単な挨拶や会話を中心に、両国の言語や社会・文化についての類似性・相違点に触れ、日本に一番近い国を旅する上での基本知識を説いた。
9)「通じるための発音のコツ(韓国語)」	平成22年2月	麗澤大学オープンカレッジ (ROCK) 主催の講演会。同時期に麗澤大学で開かれた41の有料講座のうち、もっとも多い受講申し込み人数であった。
10)「通じるための発音のコツⅡ(韓国語)」	平成23年2月	麗澤大学オープンカレッジ (ROCK) 主催の講演会。前年度の講演の際に受講者が多かったことと続きの講演の要望が多かったことでの開催となった。実際の会話の中で母音の発音の誤用の具体例を取り上げる。
11)「韓国語発音クリニック-違いやすい発音を中心に」	平成24年10月	出版社(株)アルクのイベントセミナー。カタカナ読みによる「ン」と「ッ」の発音の誤用や外来語の発音の日韓の相違による誤用を取り上げる。
12)「通じるための発音のコツⅢ(韓国語)」	平成25年2月	麗澤大学オープンカレッジ (ROCK) 主催の講演会。「通じるための発音のコツ」の続きとしての講演。学習者の丸暗記に頼ることの多い韓国語音節末の複子音の発音のコツを取り上げる。
13)「韓国語音節末子音の発音教授法」	平成25年6月	韓国大使館韓国文化院主催の韓国語教師研修会。韓国語の音節末子音、特に複子音の発音指導の現状を報告し、効果的な発音指導の教授法を紹介。
14)「修学旅行のための韓国語」	平成25年9月	千葉県成田国際高校の要請による出張講義。 2年生の約300

		人が参加。修学旅行時にすぐに必要となる簡単な挨拶や会話を中心に、韓国社会についての基本情報や現在の社会文化について紹介。
5 その他		
【ツーリズム関連講演など】		
1)「韓国人観光案内に関する講義とケーススタディ」	平成15年12月	独立行政法人国際観光振興機構(JNTO)研修の一部担当。観光案内所やサポートセンターなどで、韓国人観光客に対して現場で必要としている会話を抽出し、指導した。
2)「韓国人観光客への接遇について」	平成16年3月	山形県国際観光推進協議会・山形観光アカデミーの共同セミナーの一部担当。ホテルなどの宿泊施設での両替や観光案内、緊急時などに必要となる韓国語を指導。
3)「日韓友情年2005における日韓関係の新しい交流に向けて」	平成17年2月	国際観光テーマ地区等推薦協議会での講演。来客数トップの韓国人観光客について、スキーやゴルフを楽しむための来日の原因を探り、背景にある韓国の社会問題や価値観などについて講義した。
4)「韓国人から見た日本の魅力とは－韓国の今と受け入れの際の課題を中心に」	平成17年12月	独立行政法人国際観光振興機構(JNTO)研修。全国市町村国際文化研究所における講演において、近年急増している韓国人観光客に対する受け入れ、接遇などの問題点や韓国人観光客のさらなる受け入れを推進する方策等について講義。
5)「観光立国日本－外国人観光客誘致における地域活性化」	平成18年11月	全国市町村国際文化研究所開催の研修。韓国人誘致に成功した都市の例を挙げ、その理由となる要因と韓国の社会事情との関係について述べた。

職務上の実績に関する事項

事項	年月日	概要
1. 資格、免許		
2. 特許等		
3. 実務の経験を有する者についての特記事項		
韓国語教師養成課程指導担当	平成18年7月	外国語としての韓国語教育を目指す学生や現役の講師の指導を担当。韓国の「国語基本法施行令」に基づく韓国語教師養成課程の一部。
通訳案内士試験官担当	平成20年度～平成22年度	独立行政法人日本観光振興機構が行う国家試験で、面接による会話試験担当。
高校生対象スピーチ大会審査委員	平成20年6月	韓国大使館韓国文化院、(財)国際文化フォーラム、クムホ・

	平成21年3月 平成22年3月	アジアナ文化財団が共催する高校生対象スピーチ大会「話してみよう韓国語」本選の審査委員を担当。
フォーラム「日本の韓国語教育30周年を振り返って」のパネリスト	平成21年11月	駐日韓国大使館の韓国文化院開設30周年記念とNHKハンゲル講座の番組開始25周年を記念して行われたフォーラムでパネリストを務め、学習者中心の教育・学習者参加型の教育放送の重要性を説いた。
「話してみよう韓国語」東京・中高生大会審査委員長兼実行委員会代表	平成24年9月～ 平成27年3月	駐日韓国大使館 韓国大使館韓国文化院、「話してみよう韓国語」東京・中高生大会実行委員会の主催によるスピーチ大会。現在審査委員長兼実行委員会代表を務めた。
千葉県八千代市校長研修会講師担当	平成26年8月	千葉県八千代市校長研修会で、「韓国の今-教育を中心に」という題目で、UNESCOやOECDなどが発表した具体的な統計による日韓の教育に関するデータを比較し、韓国の教育の現状を紹介した。
「2014年度JETプログラム韓国人参加者研修プログラム」指導担当	平成26年12月	日本の地方自治体が総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR)の協力の下に実施している、JET(語学指導等を行う外国青年招致事業)プログラムの研修会の講師を務めた。日本の地方公共団体が採用し、日本全国の小学校～高校で韓国語や国際交流のために従事している研修生に対して、韓国の衣文化や礼節を正しく知り日本の文化との比較を目的とした講義を実施。
「K-POPコンテスト2016」関東大会審査委員	平成28年2月	駐日韓国大使館 韓国文化院主催によるK-POPコンテストの関東大会の審査委員を務めた。主に韓国語の発音の正確さや表現力を評価した。
随行者研修会「韓国の今を知る」講義担当	平成28年9月	文部科学省の委託により独立行政法人国立青少年教育振興機構が実施する日韓高校生交流事業の随行者研究会の講義を担当した。
日韓高校生交流事業 随行者研究会「韓国のマナー、青少年事情について」の講義担当	令和元年9月	文部科学省の委託により独立行政法人国立青少年教育振興機構が実施する日韓高校生交流事業の随行者研究会の講義を担当した。
「韓日交流作文コンテスト2019」審査及び賞の授与担当	令和元年10月	駐日韓国大使館 韓国大使館韓国文化院主催による韓国語エッセイ中高生部門、韓国語エッセイ一般部門、韓国旅行記部門の審査を担当。入賞作品への審査評及び賞の授与を担当した。
「韓日交流作文コンテスト2020」審査及び作品集への審査評掲載	令和2年10月	駐日韓国大使館 韓国大使館韓国文化院主催による韓国語エッセイ中高生部門、韓国語エッセイ一般部門、韓国旅行記部門の審査を担当。入賞作品の作品集及び韓国文化院のHPに審査評を掲載。

4. その他		
「若い世代の夢を育む韓国語教育を」	平成28年3月	「話してみよう韓国語」東京・中高生大会の実行委員会の代表として2014年度に受けた公益財団法人「韓昌祐・哲文化財団」の助成金受贈者の活躍に関する記事。 『青鶴7』 pp. 92～107

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
<b>【著書】</b>				
1) 『短い韓国語表現2002』	共	平成 9年4月	実務教育出版社	著者：李 允希・小島ミナ。全体の韓国語表現についてはすべて本人が執筆。旅行・ビジネス・日常生活の場面別基本会話表現学習書。pp. 247.
2) 『韓国語マラソン』	共	平成13年1月	株式会社アルク	監修：梅田博之、著者：イ ユニ。学習内容についてはすべて本人が執筆。6カ月で韓国語をマスターする通信教育教材。全6冊(各pp. 106) 一日60分、週6日学習する。対話文やコラムを通して文化の違いにも触れるよう配慮している。診断テスト(毎月1回)、音声添削(計2回)。音声収録担当。
3) 『楽々韓国語—韓国語教室』	単	平成13年8月	オムロンソフトウェア(株)	韓国語の学習に関する部分の執筆や音声収録を担当。韓国語の学習や辞書などを含む総合ソフト。CD-ROM 1枚、説明書1冊。
4) 『アンニョンハシムニカ?ハングル講座-美しい発音をめざして』	単	平成14年4～9月	日本放送出版協会	NHKラジオ語学番組の韓国語初級6か月コースのテキスト。ハングル文字を丸暗記するのではなく、発音器官と結び付けてイメージで覚える指導法を実際に適応している。特に発音クリニックコーナーを設け聴取者をスタジオに招いて発音指導を行って注目を浴びた。4月号から9月号まで6冊から成る。
5) 『韓国語リスニングマスター』	共	平成15年1月	株式会社アルク	監修：梅田博之、著者：イ ユニ。学習内容についてはすべて本人が執筆。



				携帯電話のアナウンス、地下鉄の案内放送など、聞く頻度の高い場面を中心に学習する形式。縮約形の多い話し言葉や言い回しなどが聞き取り難い要因である為、韓国人同士の生の対話を紹介し、それらを聞き取れるよう説明。韓国語の中級教材は非常に少なく、特に現代社会の生きた韓国語を材料にした聴解教材は少ないので、本書の存在意義は大きい。音声収録も担当。pp. 125
6) 『短い韓国語表現1400』	共	平成15年7月	実務教育出版社	著者：李 允希・小島ミナ。全体の韓国語表現についてはすべて本人が執筆。上掲1をさらに時代のニーズに基づきコミュニケーションの場面等を充実させCDを付した改訂版。音声収録も担当。pp. 216
7) 『アンニョンハシムニカ？ハングル講座-美しい発音をめざして』	単	平成15年10月～平成16年3月	日本放送出版協会	上掲4)の再放送版
8) 『ハングル三昧』	単	平成16年6月	株式会社学習研究社	韓国語学習CAI教材。特に耳から覚える工夫がなされていて、聞き取った文の書き方、発音、日本語訳の答えが問題形式で確認できる。発音のフリガナ入力にローマ字を併記し、特に間違いやすい部分の発音指導に努めた。音声収録も担当。
9) 『アンニョンハシムニカ？ハングル講座-美しい抑揚で話す』	単	平成17年1～3月	日本放送出版協会	NHKラジオ語学講座の韓国語中級3か月コースのテキスト。特に韻律に留意した発音指導が特徴である。
10) 『楽々韓国語V2-ユニ先生の易しい韓国語教室Web版』	共	平成17年10月	オムロンソフトウェア(株)	著者：イ ユニ・水嶋裕子。発音学習に関する部分やカタカナ語の新登載語に関する部分などの全体的な監修をおこなった。インターネット上で韓国語の発音を学習するWeb版CAI教材。また、韓国語カタカナ語辞書の語彙数を増やし、機械翻訳機能の強化を図った。
11) 『イメージで速習 韓国語の発音』	単	平成18年4月	株式会社アルク	ハングルの性理学及び象形と加画による制字原理を発音教育に援用し、文字のイメージで正確な発音が学べる発音教材。講義形式のDVD教材。上掲2)の追加教材。

12) 『アンニョンハシムニカ? ハングル講座-美しい抑場で話す』	単	平成18年7～9月	日本放送出版協会	上掲9)の再放送版。
13) 『ハングル三昧PLUS』	単	平成19年2月	株式会社学習研究社	CAI教材。上掲8)の韓国語総合ソフトの機能をさらに充実した改訂版。
14) 『アンニョンハシムニカ? ハングル講座-よく使うことばで賢く学ぼう』	単	平成19年4～9月	日本放送出版協会	NHKラジオ語学講座の韓国語初級6か月コースのテキスト。日常よく使われる表現や基本語彙を用いて学ぶように工夫されていて、学んだ表現や単語がすぐ使える韓国語の学習を目的としている。
15) 『韓国語学習Q&A200』	共	平成19年6月	株式会社アルク	著者：李 允希・金 順玉・谷澤恵介・阪堂千津子・白 尚憲・山下 誠・尹 貞源。Q5, Q11, Q17, Q25, Q32, Q37, Q44, Q71, Q78, Q81, Q83, Q91, Q97, Q100, Q101, Q102, Q103, Q104, Q105, Q108, Q115, Q117, Q140の部分を執筆。韓国語学習上の疑問に答える形で韓国語の学習方法、口語と文語、発音、文法、語彙、IT用語等を解説している。
16) 『NHKテレビでハングル講座』	単	平成20年4月～平成21年3月	日本放送出版協会	NHKテレビハングル講座放送用テキスト(全12冊)、1～6冊は「聞ける・話せる」にポイントを置いた初級用の教育内容で、7～12冊は日韓の比較文化を目的としたドラマによる中級用の教育内容。
17) 『韓国語の耳をつくる短期集中リスニングドリル』	単	平成20年5月	株式会社アルク	上掲5)に聞き取りの内容の強化を図った中級用の教材
18) 『学研ハングル三昧DS』	単	平成21年4月	学習研究社	上掲13)の韓国語総合ソフトに音声分析ソフトの機能を追加し、学習者の発音を録音し、モデル発音との比較を視覚的に行うことを可能にした。耳に頼るCD発音教材から、発音曲線による視覚的な違いを確認できるCALL教材で、学習者から次のバージョンへの期待が多いとの報告があった。
19) 『よく使うことばで学ぶ韓国語』	共	平成21年11月	朝日出版社	著者：イ ユニ・水谷清佳。本文や文法など学習内容の要となる部分を執筆。外国語としての韓国語教育用初級コースによる使用頻度順の高い語彙を中心として執筆したテキスト。実際に話

20) 『アンニョンハシムニカ? ハングル講座-よく使うことばで賢く学ぼう』	単	平成21年10月～平成22年3月	日本放送出版協会	す場面でのTaskを重視した内容で、誤用の多い発音について細かい説明を施している点が特徴。また、練習問題やテスト問題を含めた教授用資料も作成した。  上掲14)の再放送版。
21) 『よく使うことばで学ぶ韓国語』 教授用CALL教材	共	平成22年10月	朝日出版社	著者：イ ユニ・水谷清佳。本文や文法など学習内容の要となる部分を執筆。平成21年11月に出版した著書『よく使うことばで学ぶ韓国語』の教授用資料(PPT教材)。
22) 『3分ドラマで覚える！らくらく韓国語(発音編)』 CALL教材	共	平成26年3月	株式会社SPRING	文字から連想する発音学習法と文字習得の段階が音韻変化の学習のSchemaとなる連系法で作成したCALL教材。前半の発音編を執筆。
23) 『まいにちハングル講座-やさしい言葉、うつくしい発音』	単	平成26年4～9月	NHK出版	NHKラジオ語学講座の韓国語入門6か月コースのテキスト。うつくしい発音を習得するためのピッチやイントネーションを視覚的に理解できるようにしている。
24) 『まいにちハングル講座-やさしい言葉、うつくしい発音』	単	平成27年10月～平成28年3月	NHK出版	上掲23)の再放送版。
<b>【学術論文】</b>				
1) 「日本語母語話者のための韓国語発音指導方案」	単	平成14年12月	梨花女子大学教育大学院修士学位請求論文	韓国語の発音教育に際して、ハンゲルの性理学及び発音器官の象形を加画に基づく制字原理を援用することで効果的に指導する方式を確立し提案した。pp. 156
2) 「韓国語音声教育における子音と音韻変化の連系的指導方法」	単	平成15年12月	麗澤大学紀要77巻、麗澤大学	上掲論文の本論をもとに、その方法を子音が結合した際に生じる音韻変化の説明にも適用し、単音としての子音の発音にとどまらず、フレーズの中での子音の発音に関しても有効な指導方式を確立し提案した。pp. 71-92

3) 「韓国語の音節末複子音の指導方案-音節末の [ㄷ/ㄷ]脱落を援用して」  (その他)	単	平成16年12月	麗澤大学紀要79巻、麗澤大学	韓国語には複子音で終わる語根・語幹から成る体言・用言があり、複子音のうちいずれを発音し、いずれを無音とするかの条件は、従来必ずしも明確でなかった。筆者は複子音のうち、中子音が無音化し辺子音が実現されることを、tの弱音性をも考慮に入れて法則化した。pp. 213-236
1) 「ユニ先生のユニーク韓国語マスター (なぜ固有数詞、なぜ漢数詞?)」	単	平成15年7月	『韓国語ジャーナル』第1号、pp. 112～113 (アルク)	韓国語文法の学習上の問題点の解説の連載①。固有語数詞と漢語数詞の使い分けを説明。
2) 「ユニ先生のユニーク韓国語マスター(固有数詞の覚え方)」	単	平成15年10月	『韓国語ジャーナル』第6号、pp. 104～105	連載②：漢語数詞は日本語と共通性があるが、日本語との共通性がなく、使い分けの難しい固有数詞の覚え方のコツを紹介。
3) 「ユニ先生のユニーク韓国語マスター(韓国語のアクセントとイントネーションⅠ)」	単	平成16年1月	『韓国語ジャーナル』第7号、pp. 104～105	連載③：韓国語のアクセントとイントネーションは教材で取り上げられることがあまりない。数少ない音律に関する解説である。
4) 「ユニ先生のユニーク韓国語マスター(韓国語のアクセントとイントネーションⅡ)」	単	平成16年4月	『韓国語ジャーナル』第8号、pp. 120～121	連載④：上の続き。
5) 「ユニ先生のユニーク韓国語マスター(パッチムを読むコツⅠ)」	単	平成16年7月	『韓国語ジャーナル』第9号、pp. 114～115	連載⑤：日本語には存在しない音節末子音の発音は日本語母語話者にとっての学習困難点の一つで、これをいかに克服するかを解説。
6) 「ユニ先生のユニーク韓国語マスター(パッチムを読むコツⅡ)」	単	平成16年10月	『韓国語ジャーナル』第10号、pp. 100～101	連載⑥：⑤の続き。
7) 「ユニ先生のユニーク韓国語マスター(語尾の使い分けのコツ-因果関係の表現)」	単	平成17年1月	『韓国語ジャーナル』第11号、pp. 120～121	連載⑦：文法語尾に関する解説。因果関係を表わす類義表現の使い分けについての解説。
8) 「ユニ先生のユニーク韓国語マスター(語尾の使い分けのコツ-推量表現)」	単	平成17年4月	『韓国語ジャーナル』第12号、pp. 120～121	連載⑧：推量に関する類義表現の使い分けの解説。

9)「ユニ先生のユニーク韓国語マスター(語尾の使い分けのコツー不可能の表現)」	単	平成17年7月	『韓国語ジャーナル』第13号、pp. 118～119	連載⑨：不可能に関する類義表現の使い分けの解説。
10)「ユニ先生のユニーク韓国語マスター(語尾の使い分けのコツー「～ている」の表現)」	単	平成17年10月	『韓国語ジャーナル』第14号、pp. 116～117	連載⑩：動作の状態、継続を表わす表現についての解説。
11)「ユニ先生のユニーク韓国語マスター(語尾の使い分けのコツー動詞の連体形の表現)」	単	平成18年1月	『韓国語ジャーナル』第15号、pp. 116～117	連載⑪：連体形の用法について。
12)「ユニ先生のユニーク韓国語マスター(語尾の使い分けのコツー接続の表現)」	単	平成18年4月	『韓国語ジャーナル』第16号、pp. 124～125	連載⑫：接続形語尾の用法について。
13)「ユニ先生のユニーク韓国語マスター(語尾の使い分けのコツーいわゆる過去形という表現)」	単	平成18年7月	『韓国語ジャーナル』第17号、pp. 104～105	連載⑬：過去形とよんでいる時制接辞の用法について。
14)「発音専門医ユニの発音クリニック(一つのパッチムの発音)」	単	平成18年10月	『韓国語ジャーナル』第18号、pp. 60～61	連載①：音節末子音の発音の仕方について。
15)「発音専門医ユニの発音クリニック(二つのパッチムの発音)」	単	平成19年1月	『韓国語ジャーナル』第19号、pp. 60～61	連載②：音節末子音が複子音であるときの発音の仕方について。
16)「発音専門医ユニの発音クリニック(有声音化)」	単	平成19年4月	『韓国語ジャーナル』第20号、pp. 64～65	連載③：語中の有声音間で平音が有声音化する現象についての解説。
17)「発音専門医ユニの発音クリニック(連音化)」	単	平成19年7月	『韓国語ジャーナル』第21号、pp. 64～65	連載④：子音で終わる音節に母音や[h]で始まる音節が続くと子音は続く音節に初声化する。これを連音と言い、連音化する条件について解説。
18)「発音専門医ユニの発音クリニック(ㄴ/n添加)」	単	平成19年10月	『韓国語ジャーナル』第22号、pp. 60～61	連載⑤：nパッチム(音節末の/n/)のあとにiやyで始まる音節が続くと発音上nが挿入されるが、n挿入が生じる条件について解説。

19)「発音専門医ユニの発音クリニック(激音化)」	単	平成20年1月	『韓国語ジャーナル』第23号、pp. 64～65	連載⑥:前後の/h/の影響により、平音が激音になる現象について解説。
(その他)				
1)「韓国語にチャレンジ」	単	平成12年4月	株式会社アルク	韓国語に興味のある学習者に、文字と言葉について簡単に解説している。「発音と文字編」、「ひとこと実践編」となる。 『韓国語をモノにするカタログ2001』、pp. 44～80
2)「ハングルが分かるともったのしい!」	単	平成14年4月	メディアファクトリー	韓国語学習の意義と楽しさを説いた。 『ダ・ヴィンチ』、pp. 186
3)「韓国語ってどんな言葉?」	単	平成14年7月	株式会社アルク	韓国と韓国語に多少興味を持った読者に韓国語の組み立てと日本語との類似性を説いた。 『韓国語ジャーナル』の創刊号、pp. 78～79
4)「マルチリンガル日本語教師(韓国語)」	単	平成14年10月	株式会社アルク	日本語教師は学習者の母語についても知識が必要であることから韓国語について解説。 『月刊日本語』10号、pp. 66～67
5)「話せる韓国語講座」	単	平成16年4月	宝島社	韓流の人気のなかでドラマを教材に話せる韓国語を学ぶ講座。 『韓国ドラマでLet's!ハングル』、pp. 87～93
6)「ユニ先生のアンニョン!韓国」	単	平成18年2月	学習研究社	隣国韓国の言葉や文化についての子供むけの平易なネットでの解説。学研Kids Net HPの文化講座
7)「韓国語が聞き取れない原因」	共	令和2年12月	株式会社HANA	著者: <u>イ ユニ</u> ・池 成林・迫田英文・柳本大地。「アクセント、イントネーションパターン、話し言葉」に関する内容を担当。 『韓国語学習ジャーナルHANA』Vol. 38、pp. 24～31

<p>【監訳】</p> <p>『JETプログラム日本語講座 翻訳/通訳コース』(全6巻)</p>		<p>平成13年2月</p>	<p>財団法人自治体国際化協会</p>	<p>韓国語が聞き取れない原因と克服できる学習方法についての4人の教員による解説。</p>
<p>【監修】</p> <p>1) 『iPod selection韓国語ーハングルを学ぶ』</p>		<p>平成19年2月</p>	<p>ソースネクスト</p>	<p>水谷信子先生執筆の『翻訳・通訳コース』の韓国語対応版。日韓の双方向の翻訳/通訳を目指した学習書。</p>
<p>2) 『iPod selection韓国語ーハングルを学ぶ (Premium)』</p>		<p>平成19年2月</p>	<p>ソースネクスト</p>	<p>CALL教材。共著者：水嶋裕子。教材の構成や学習レベル、必要な学習項目の選定をし、教材全体を監修。iPod&amp;PC利用で学習するCAI教材。ハングル文字が分からなくても学習できる内容になっている。音声収録も担当。</p>
<p>3) 『学研ハングル三昧DS聴きトレ&amp;書きトレ』</p>		<p>平成23年11月</p>	<p>学習研究社</p>	<p>CALL教材。同上のソフトに、ビジネスの場面で必要な会話を追加した特上版。</p>
<p>4) 『標準韓国語文法辞典』</p>		<p>平成24年11月</p>	<p>株式会社アルク</p>	<p>上掲18)の好評により作成した中級学習者用のCALL教材。使用頻度の高い単語を中心に、文字認識を搭載した携帯用学習ソフト上に、聞いて書くことを繰り返してトレーニングすることで、聴くスキルと書くスキルの向上が図れる。また、動詞や形容詞の活用形をまとめて覚えられるようなコーナーも設けている。</p>
<p>5) 『3分ドラマで覚える！ 楽々韓国語』(会話編)</p>		<p>平成26年3月</p>	<p>株式会社SPRING</p>	<p>韓国・国立国語院が発行した韓国語文法学習のための辞書。</p> <p>日本語母語話者が日本で韓国語を学習する際に、もっとも会話する可能性の高い場面を選定し3分間のドラマにした動画教材。会話編を監修。</p>